

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

<b>学校通信</b> <b>ひがしやま 第27号</b>	発行日 令和6年6月25日(火)
	発行者 別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明

## ○ベンチの修理について。



校庭に卒業記念品としていただいたベンチがあります。経年劣化でボルトが緩んでいましたので、山口さんが固定してくれました。

★★

## ○学校事故対応対策研修(6/10)について。

全校種管理職対象研修ですが、災害時及び日常においても役立つ情報がありましたのでお知らせします。

講師 大分大学 CERD 客員教授 板井幸則 氏

### 1 令和6年能登半島地震 避難所運営等視察調査から見たもの

(1) 女性への配慮不足。(女性が避難所を敬遠する。)

- ① 仮設トイレ4基のうち3基が男性。男女共用。
- ② 生理用品が避難場のステージ上に無造作に置いてあった。

(2) 食糧

- ① 発災が1月1日。自宅に食料があった。
- ② カップラーメンを毎日食べられない。

(3) 段ボールベッドの不足。

余震が続くなかでは、避難場所で靴を脱がない。高さ30センチの段ボールベッドが粉塵による感染症等を防ぐ。

災害関連死を防ぐには、少なくとも「快適で十分な数のトイレ」「温かい食事」「簡易ベッド」の提供が必要。

(4) その他

- ① 簡易トイレには、和式があるが児童生徒は使用できるか？
- ② 携帯電話がバッテリー切れや回線のパンクで使えない時、公衆電話を使用する。使用したことがあるか？ 家族の電話番号を覚えているか？

### 2 家庭でできる日頃の備えについて

(1) (朝)ご飯を食べる。発災後、食糧確保が困難な場合を想定。

(2) 寝る前に服を準備。明日着る服を決めておく。特に冬は、着の身着のまま外気に触れることになる。

(3) 靴をそろえる。すぐに外に飛び出せるか。1秒が命を左右する。